

事務事業名	観光施設整備事業	事業期間	～	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課	観光係	連絡先	422	

政策番号	04	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	産業振興ビジョン	#N/A			
			基本計画②	01	産業振興ビジョン	#N/A			
			実行計画	05	観光振興ビジョン	0504	観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進		

予算事業名	観光施設整備費	会計コード	01	款	07	項	01	目	05	事業	06
-------	---------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)

4エリアごとの特徴を生かした観光施設整備を行うとともに、観光客が、気持ちよく安全に満喫できる施設整備を行う。
 ・ハケ岳エリア・・・登山道整備、トイレ整備、駐車場の整備
 ・白樺湖・車山エリア・・・白樺湖遊歩道・公衆トイレ・駐車場整備、車山観光施設整備
 ・夢科エリア・・・夢科湖遊歩道、公衆トイレ及び拠点となる道の駅の整備
 ・縄文の里エリア・・・晴ヶ峰観光施設の整備

現状と背景
(どうして)

・ハケ岳エリアは、登山ブームにより登山者が増加し、安全な登山道の整備求められている。
 ・白樺湖エリアは、ジョギングロードが整備され、アスリート向けにはPRになるが、一般向けについては、周辺施設の老朽化が進んでいる。
 ・夢科エリアについては、夢科高原の核となる夢科湖周辺を整備し、今後は賑わいの創出が必要となってくる。
 ・縄文エリアは、晴ヶ峰観光施設へ案内機能の整備が求められ、峠の茶屋を中心とした周辺の施設整備が必要となってくる。

目的

受益者
(誰のために)

市民、観光客、登山者

対象
(直接働きかける)

同上

目的意図
(どんな状態にしたいか)

・ハケ岳エリア・・・初心者からエキスパートまで安全に、快適な登山が楽しめるように整備する。
 ・白樺湖・車山エリア・・・駅伝合宿による知名度向上により、アスリートだけでなく一般客が集う白樺湖を目指す。
 ・夢科湖エリア・・・夢科湖に集客の核となる道の駅を整備し、活気ある夢科を取り戻す。

手段・方法
(どうやって)

自然環境整事業、パイロット事業を活用し、整備の遂行を図る。また、地域の関係者等と連携を図った観光まちづくりを推進する。
 ・ハケ岳エリア・・・登山道整備工事、トイレ整備工事の実施
 ・白樺湖・車山エリア・・・白樺湖遊歩道整備工事、白樺湖公衆トイレ整備、合宿誘致活動
 ・夢科湖エリア・・・夢科湖遊歩道整備工事及び道の駅構想の推進、御射鹿池公衆トイレ整備
 ・縄文の里エリア・・・峠の茶屋で営業している業者と整備計画の検討及び整備を行う。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	観光施設整備	観光施設整備件数	件	観光施設の合計整備件数
	2	外国語標記の看板の設置	外国語標記の看板の設置件数	件	外国語標記の看板の合計設置件数	10
	3					
	変更履歴					
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	ジョギングコース利用者数の増加	延利用者数	千人	8ヶ月×30日×100人=24,000	24
	2	夢科湖観光客数の増加	延利用者数	千人	365日×3000人=1,000,000	1,000
	変更履歴					

実況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	50,161,356	92,258,990	57,103,000
財源内訳	国庫支出金	円	0	0			
	県支出金	円	26,762,000	26,576,000	23,084,000		
	地方債	円	0	0			
	その他特定財源	円	23,055,560	56,555,840	17,892,000		
	一般財源	円	343,796	9,127,150	16,127,000		
活動指標	観光施設整備件数	目標	5	6	7		
		実績	5	6			
		達成率	100.00	100.00	-	-	-
	外国語標記の看板の設置件数	目標	10	10	10		
		実績	14	11			
		達成率	140.00	110.00	-	-	-
-	目標	-	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	-	
	達成率	-	-	-	-	-	
成果指標	延利用者数	目標	24	24	24		
		実績	15	15			
		達成率	62.50	62.50	-	-	-
	延利用者数	目標	1,000	1,000	1,000		
		実績	110	94			
		達成率	11.00	9.40	-	-	-
備考							

事務事業名	観光施設整備事業		事業期間	~	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課	観光係			連絡先	422

事務事業名	観光施設整備事業		事業期間	~	年度	係内番号	03
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課	観光係			連絡先	422

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果動指要標因分）析		白樺湖エリア・夢科湖エリアそれぞれへの来客数に対して、ジョギングコース・夢科湖への来客が大幅に少ない状況になっている。	夢科湖道の駅を整備したことで夢科湖へ立ち寄る人が増えている。		
価値	成果	来客数は目標数に達していないものの、夢科湖エリアでは駐車場整備により駐車台数が増加した。	来客数は目標数に達していないものの、夢科湖エリアでは道の駅来場を目的に立ち寄る人が増加した。			
	総合評価課題	観光客のニーズを把握し、施設の整備を進めて行くことが必要である。トイレの設置要望、遊歩道の整備、駐車場の整備など計画的に進めることが必要である。	観光客のニーズを把握し、施設の整備を進めて行くことが必要である。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性	地元協会との定期的な打合せを行い観光客のニーズに合わせた改修計画を立案する必要がある。白樺・夢科エリアについて、整備個所の検討と年次計画の立案が必要である。	地元協会との定期的な打合せを行い観光客のニーズに合わせた改修計画を立案する必要がある。白樺・車山、夢科エリアについて、整備個所の検討と年次計画の立案が必要である。			
	策内容		近い将来、白樺湖南駐車場公衆トイレの建替えが必要。建設から30年経過。			
作成担当者	長田 勇人	長田 勇人				
最終評価責任者	北沢 政英	上田佳秋				
最終評価年月日	R1.5.17	2020年7月2日				

事務事業名	観光施設維持管理事業	事業期間	～	年度	係内番号	02
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課	観光係	連絡先	423	

政策 番号	04	基本計画①	01	産業振興ビジョン	#N/A	実行計画の施策の柱における指標との関連度	低						
		基本計画②	01	産業振興ビジョン	#N/A								
		実行計画	05	観光振興ビジョン	0504			観光まちづくりと連動した観光環境整備の推進					
		計画CD	計画名称		施策の柱CD			施策の柱の名称					
予 算 事 業 名	観光施設維持管理費			会計コード	01	款	07	項	01	目	05	事業	05
事務事業の概要	当市の観光エリアは広大であり、登山道、遊歩道、園地、公衆トイレが数多くある。安全に観光を満喫でき快適に公衆トイレを利用できるよう、また自然を守るために必要な施設維持管理を行う。												
現状と背景	観光地には様々な観光客が利用するため、安全かつ快適に観光ができるよう登山道、遊歩道、観光案内看板を含む園地等での修繕が不可欠である。また、公衆トイレは非常に重要な施設であり清潔感を保つことも必要とされる。そして観光客が利用する観光施設だけではなく、観光資源でもある大切な自然環境を守るためにも、必要な維持管理を行う。												
目的	受益者	市民、観光客、登山者											
	対象	施設をパトロールする団体や施設を維持管理する団体											
手段・方法	意 図	安全で快適な魅力ある観光施設を目指し、「茅野市に来てよかった」「また茅野市に来たい」と思われる施設を目指す。											
	方法	遊歩道巡回の強化を施し、維持工事が必要な箇所は迅速に対応する。公衆トイレの点検回数、清掃回数を増やす。											
評価 指標 の 作成	活動 指標	1	遊歩道の維持管理	遊歩道等の巡回回数	回	観光客等の入り込みが予想されるシーズン中。各月の連休前後等の巡回（月3回）	36						
		2	トイレ清掃、点検回数	トイレ清掃、点検回数	回	清掃管理の委託先と約束している清掃回数の平均値	181						
		3											
	成果 指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など		最終目標値					
		1	観光客等からの苦情を無くす	非苦情発生件数	件	1年間に観光客等からの苦情がなかった日を1件として		365					
		2	観光客の入込数	観光地延利用者数	千人	県観光地利用者統計調査		3,400					
変更履歴													

項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費等(a)	円	31,790,792	33,261,445	34,715,000		
財源内訳						
国庫支出金	円	0	0			
県支出金	円	0	2,000,000	484,000		
地方債	円	0	0			
その他特定財源	円	1,355,048	1,511,429	1,703,000		
一般財源	円	30,435,744	29,750,016	32,528,000		
活動 指標	遊歩道等の巡回回数	目標	36	36	36	
		実績	36	36		
	達成率	%	100.00	100.00	-	-
	トイレ清掃、点検回数	目標	181	181	181	
		実績	181	181		
	達成率	%	100.00	100.00	-	-
-	目標	-	-	-		
	実績	-	-	-		
達成率	%	-	-	-	-	
成果 指標	非苦情発生件数	目標	365	365	365	
		実績	360	360		
	達成率	%	98.63	98.63	-	-
	観光地延利用者数	目標	3,400	3,400	3,400	
実績		3,300	3,302			
達成率	%	97.06	97.12	-	-	
備 考						

事務事業名	観光施設維持管理事業		事業期間	~	年度	係内番号	02
担当部署	産業経済部	観光まちづくり推進課	観光係			連絡先	423

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成変果動指要標因分）析		2つの活動指標について、いずれも目標通りの実績となった。点検並びに清掃管理の頻度を守る事によって、安全で衛生的な状態を保つことができたため、苦情件数が少なく、成果指標についても目標に近い利用者数に達した。	2つの活動指標について、いずれも目標通りの実績となった。点検並びに清掃管理を適切に行うことによって不快感を与えず、目標に近い人数にご利用いただいた。		
価値	成果	登山道、遊歩道における歩行者の安全が確保された。公衆トイレが清潔感のある施設となった。	登山道、遊歩道においては梅雨時の長雨や台風災害により施設が被災したが、それぞれ修繕の対応をし、歩行者の安全が確保された。 公衆トイレにおいては清潔感のある状態が保たれた。			
	総合評価課題	公衆トイレに関しては決められた頻度で清掃を行っていたが、ハイシーズンに利用者が集中し、苦情も発生した。利用状況に応じた対応が必要である。	登山道、遊歩道で毎年被災する箇所がある。事後対応だけでなく、排水施設の整備などの対応が必要である。 施設の老朽化が進んでいる。			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性の内容	観光施設において公衆トイレの改修により観光客の満足度を上げることが最重要事項であると考えられる。様々な施設を管理しており、用途に合わせた観光施設を最低限の維持管理費で賄える方法や工法を検討することが必要である。	雨水対策として、土のう積みや溝掘りなど、低コストで行える対策を講じる。公衆トイレについては、外壁の塗装や錆落としなど、低コストで行える修繕の実施が必要である。			
作成担当者	長田 勇人	長田 勇人				
最終評価責任者	北沢 政英	上田 佳秋				
最終評価年月日	R1.5.17	2020年7月2日				